

2020年2月29日

消化器外科に、過去に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 大腸癌における細菌・ウイルス感染の臨床的意義と生物学的意義の検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 鈴木 康之 消化器外科 教授

[研究の目的]

胃癌に対するピロリ菌の関連や、子宮頸癌に対するヒトパピローマウイルスの関連など、癌と細菌・ウイルスの関連が注目を集めています。本研究は、大腸癌の患者さんを対象に、細菌・ウイルス感染の有無によって予後や治療効果との関連性があるのか、さらには細菌・ウイルス感染が癌細胞の遺伝子変異に与える影響を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

大腸癌の患者さんで、2012年1月から2016年12月の間に当院消化器外科で手術を受けた方。

○利用する検体・診療情報

検体：組織

診療情報：年齢、性別、腫瘍の組織型、腫瘍のサイズ、進行度、腫瘍局在、再発の有無、転移の有無、術後補助化学療法の有無、予後

[研究組織]

【研究責任者】

(氏名) 鈴木康之 (所属) 消化器外科 (職名) 教授

【研究分担者】

(氏名) 西浦文平 (所属) 大学院医学系研究科 (職名) 大学院生

(氏名) 隈元謙介 (所属) 消化器外科 (職名) 講師

(氏名) 古市ゆみ (所属) 消化器外科 (職名) 医員

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器外科 担当医師 古市ゆみ

電話 087-891-2438 FAX 087-891-2439